

まちと公共施設の未来をともに創造する

第16回小千谷リビングラボ「at！おぢや」

■日時／2023年12月17日（日） 13:30 - 16:30

■会場／総合産業会館サンプラザ 3階大ホール

概要

現在、小千谷市では、旧小千谷総合病院跡地（本町1）に図書館等複合施設の整備を進めています。この事業では、施設の整備段階から、市民のみなさんと行政が新しい施設の活用方法や地域の価値・課題などについてともに考えていく場として小千谷リビングラボ「at！おぢや」を立ち上げ、継続的な活動を通じてオープン後の施設活用と中心市街地の活性化につなげていくことを目指しています。2020年度に体制を立ち上げて以降、施設の整備段階から、新しい施設の活用方法や地域の価値・課題などについて市民のみなさんと行政がともに考えていく場として、対話を重ねてきました。

現在は、施設の設計が終わり建設工事が進んでいる段階です。また、この度、施設愛称も「ホントカ。」に決定しました。第16回となる今回は、これまでのat！おぢやで考えた新しい施設やまちの中でやってみたい企画をいくつかピックアップし、各自関心のある企画にあつまって、試行・試作（プロトタイプ）を行います。その企画をどう実現出来るか、実際に手を動かしてみながら、その課題や可能性を一緒に考えてみましょう。

タイムテーブル

挨拶・事業説明・管理運営計画パブリックコメント実施の案内	13:30-13:50
リビングラボについて・オリエンテーション	13:50-13:55
DERTA自己紹介・本事業での取り組みについて	13:55-14:05
試行・試作（プロトタイプ）を行う企画とワークの説明	14:05-14:15
ワーク「まちを楽しもう！実践編」 ※休憩（5分程度）含む	14:15-15:55
①グループ分け	（目安：5分）
②プロトタイピング企画・制作	（目安：90分）
③発表準備	（目安：5分）
発表・実施	15:55-16:25
まとめ	16:25-16:30

①今回のテーマ

以下のこれまでのat！おちやであがったアイデアの中で、
今回ピックアップした3つの企画から
興味のあるものについて試行・試作（プロトタイピング）を試してみる

企画①

ひと箱の
本棚づくりを
発展させよう

～「フリマから
何かが生まれる！」企画へ～

企画②

小千谷の
映えスポットを
SNSにアップしよう

企画③

いつでも
DIY

②プロトタイピングとは



プロトタイピングとは

プロトタイピングとは、製品やサービス（ここではホントカ。におけるプロジェクト等の企画）のアイデアやコンセプトを試行・試作の形で具体化し、その有効性や実現性、工程などを検証すること。失敗の経験も学びの機会として重要となる。繰り返し検証し、改善していくこと、また計画内容についての共通認識をつくってしていくことを目的とする。